

6月15日

ご結婚おめでとうございます！ 町農業後継者結婚祝金贈呈式を開催



若い夫婦の前途を祝して

弟子屈町農業後継者結婚祝金の贈呈式が、6月15日、町役場で行われました。祝金を受け取ったのは猪狩大智さん・陽菜さんご夫婦と望月大介さん・希美さんご夫婦。贈呈式には徳永町長、町農業委員会塩沢稔宏会長、摩周湖農協川口覚組合長が出席し、両夫婦に祝金3万円と祝品のデジタルフォトフレームがお祝いの言葉と共に贈られました。川口会長は「町の農家戸数は減少している。夫婦で農業を頑張って、後に続く人の見本になってほしい」と激励の言葉を贈りました。残念ながら当日欠席となった藤本慎平さん・春菜さんご夫婦の元にも、後日、祝い金と記念品が届けられました。

カメラスケッチ
広報マンが
行く!!

このページは皆さんからの情報で作られています。どのような情報でもすぐにつけられます。お気軽にご連絡ください。

まちづくり政策課政策調整係 ☎482-2913 (課直通)

6月7～25日

華やかな作品がズラリ 越前清美さんの作品展が開催



目を楽しませる作品の数々

町在住の越前清美さんの作品展「クロスステッチに魅せられて」が、6月7日～25日まで、弟子屈郵便局(藤原将男局長)

ロビーで開催されました。越前さんが同郵便局で作品展を開くのは今回が初めてで、鳥や花、アニメキャラクターを可愛く描いた壁掛けやコースター、針刺しなど、近年作ったさまざまな種類の作品のほか、作品展に合わせて作った新作など91点が展示されました。

越前さんの作品を見た郵便局の利用者からは「どれも精巧で見てると楽しい」と声が寄せられていました。

7月8日

静かで自然豊かな湖に 屈斜路湖適正利用連絡協議会を開催



報告を行う徳永町長

屈斜路湖適正利用連絡協議会(会長・徳永哲雄町長)が7月8日、摩周観光文化センターで開催されました。同協議会は国立公園内に位置する屈斜路湖の豊かな自然環境の保護と安全で適正な利用を推進することを目的とし、町や環境省、ウォータースポーツ関連団体などで構成されています。

関係者ら約30人が参加し、今年度の活動計画を決定したほか、7月から8月にかけて実施する砂湯の安全対策や、10月1日から実施される自然公園法による動力船の乗り入れ規制について報告も行われました。

6月17日

消防力の充実・強化に貢献 令和3年春の叙勲(消防功労)伝達式を開催



上村さん(右)、野田さん(左)

令和3年春の叙勲(消防功労)の受章伝達式が6月17日、役場委員会室で開催されました。

この叙勲は、永年にわたり国民の生命、身体および財産を火災などの災害から防衛し、消防力の充実と強化に尽力され、消防発展に貢献した功績が高く評価されたもの。今回、瑞宝単光章を受章したのは、元弟子屈消防団副団長・上村保範さんと、元弟子屈消防団分団長・野田彰さん。徳永町長から勲記と勲章が伝達され、受章した野田さんは「とても名誉なこと。地域の皆さんのご協力があってこそその受章です」と話していました。

7月1日～30日

みんなで住みよいまちづくりを 社会を明るくする運動を実施



役場前で啓発品を配布し運動を推進

保護司会や更生保護女性会などで組織する弟子屈町社会を明るくする運動推進委員会(委員長・徳永哲雄町長)による社会を明るくする運動が、7月1日～30日に実施されました。

今年は、役場庁舎に懸垂幕を掲示し、役場庁舎を訪れた町民の方などにハンカチやメモ帳などの啓発品を配布したほか、16日には保護司会の皆さんが役場庁舎前で街頭啓発活動を行い運動を推進しました。

町内各地で運動会・体育祭開催

川湯コミュニティ運動会・美留和小学校ミニミニ運動会・和琴小学校運動会・認定こども園ましゅう運動会・弟子屈中学校体育祭



2年ぶりのコミュニティ運動会(川湯・6月12日)



元気よく選手宣誓(こども園ましゅう・7月3日)



大人も子どもも全力(和琴小・6月19日)



お母さんと息を合わせて(美留和小・6月18日)



先にゴールしたのは!? (弟子屈中・7月15日)

川湯地域の小・中学校と保育園合同の川湯コミュニティ運動会を皮切りに、各地で運動会・体育祭が6月12日から7月15日にかけて行われました。どの会場も新型コロナウイルス感染症拡大防止のため規模を縮小し感染防止を徹底した上で開催され、観客を家族のみに制限、または無観客での開催となりましたが、園児や児童・生徒のやる気は十分。大いに盛り上がりました。各会場では団対抗の徒競走やリレーはもちろん、水汲みりレーや障害物競走、さまざまな仕掛けがある親子競技など、それぞれ特色のある競技が繰り広げられ、園児、児童、生徒の皆さんは、練習の成果を発揮していました。

※弟子屈小学校の運動会の様子については、終了後にご紹介いたします。

町の話



CloseUp Topics

精強な消防隊員の育成を目指して

釧路管内消防事務組合連絡協議会 救助訓練



優勝した石井隊員の「ロープブリッジ渡過」



すばやい救助を行う「ほふく救出」



ものすごいスピードで登る「はしご登はん」

「ロープブリッジ渡過」では、鶴居消防署石井圭士長、「はしご登はん」では、釧路消防署下向航平士長、「ほふく救出」では、厚岸消防署の村上拓斗士長、武田大佑士長、水本潤消防士の組がそれぞれ優勝しました。

釧路北部消防事務組合の鈴木消防長は、「残念ながら全道大会などは中止になったが、若い隊員の技術の向上に繋がれば」と話していました。

実施種目として、往復40メートルのロープを渡る「ロープブリッジ渡過」、15メートルのはしごを登る「はしご登はん」、3人一組で狭いトンネルの先にいる人を救助する「ほふく救出」の3種目が行われました。それぞれの種目では、安全性、確実性や所要時間で審査が行われました。

今回の救助訓練は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、例年行われている全道消防救助技術訓練指導会の中止を受け開催されたもので、救助活動における体力、精神力、技術力を競う合同の訓練として実施されました。

今回の救助訓練は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、例年行われている全道消防救助技術訓練指導会の中止を受け開催されたもので、救助活動における体力、精神力、技術力を競う合同の訓練として実施されました。

釧路管内消防事務組合連絡協議会(会長・釧路東部消防組合谷政弘消防長)主催による救助訓練が7月8日、弟子屈消防署で行われ、釧路東部消防組合、釧路北部消防事務組合の隊員32人が参加しました。